

1 令和4年度の開催予定

1回	5月	農福連携モデルの体制方針の検討 (体制、仕組みづくりに向けた課題の抽出、整理、解決)
2回	7月	
3回	8月	
4回	9月	農福連携モデルの体制方針の決定
5回	2月	農福連携モデル開始準備
6回	3月	

※令和5年5月頃 農福連携モデル事業開始

2 事前に提出のあった意見（まとめ）

	意見の内容
津田委員	目指すべき方向性や目的の共有を図り、その実現に向けた中長期目標を立てたい。 農福連携を推進、強化、継続していくためにはハブ的な窓口機能及びマッチング機能が重要であると思うので、体制づくりを取り組んでいきたい。そのためには、まずは参加されている各分野の実際を知るために、見学や農作業体験の実施をお願いしたい。
河田委員	<ul style="list-style-type: none">・各分野との交流を深め、人との関わりを持ち、やりがいや楽しみ、役割又は社会と繋がりを実感・事業所の畑で農作物を栽培。出荷販売する。（少量、年に数回程度）・短時間で単純な作業内容・受注による育苗ポットを使用した育成・マルシェ参加